

令和5年度 南砺市スポーツ推進審議会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和5年7月3日（月）午後3時00分～午後5時00分

2 場所

南砺市役所別館3階 大ホール

3 出席委員

- ・才川 昌一（会長）
- ・赤池 伸彦（副会長）
- ・永山 恵
- ・寺井 正次
- ・窪 辰夫
- ・曲師 政隆
- ・金兵 留美
- ・谷戸 仁美
- ・水戸 明美
- ・堀 勉
- ・佐々木 宏美

4 欠席委員

- ・梨谷 一男

5 市教委出席者

- ・教育委員会 教育長 松本 謙一
- ・教育委員会 教育部長 笠井 学
- ・教育総務課 課長 氏家 智伸
- ・教育総務課 主幹 金谷 諭
- ・高校総体スキー推進室長 平本 光一
- ・生涯学習スポーツ課長 鶴野 幸男
- ・生涯学習スポーツ課副主幹 南田 哲幸
- ・生涯学習スポーツ課副主幹 西田 誠
- ・生涯学習スポーツ課主任 村田 雄輔
- ・生涯学習スポーツ課主事 横山 由記

6 傍聴者

なし

7 審議会の要旨

1 開会

生涯学習スポーツ課長が開会を宣言した。

2 委員の任命

3 開会挨拶

(松本教育長)

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

5月に新型コロナウイルス感染症対策が5類となり、南砺市でも様々な活動が前のように戻りつつある中、委員の皆さまにおかれましてはそれぞれの立場でご協力、そしてご指導をしていただいていることに感謝申し上げます。ありがとうございます。

本市では第2次南砺市スポーツ推進計画が令和2年度からスタートして4年目となりました。この間、コロナ禍を経て、南砺のスポーツを取り巻く環境も大きく変化しており、新たな課題、そして更なる工夫の必要性も見えてきていることと思います。本日はスポーツ推進審議会ということで昨年度の事業報告や今年度の取り組み

みについて報告等をさせていただきます。委員の皆さまにはご忌憚のない意見をお聞きしたいと思います。ぜひそれらを活かして今後の教育行政を活かしていきたいと思ひます。

終わりに、今後も継続的に生涯スポーツ、競技スポーツの振興にご尽力いただきますとともに、今日委員となられて2年間どうかよろしくお願ひいたします。

4 会長及び副会長の互選

会長に才川昌一氏、副会長に赤池伸彦氏が選出された。

5 会長挨拶

(才川会長)

今ほどは皆さま方からご支持をいただきました。微力ではありますが会の運営に向けて一生懸命がんばりたいと思ひています。2年間ということではありますが、2年間会長を務めるのかどうかはまた皆さまとご相談させていただきながら進めさせていただきたいと思ひます。皆さま方のご協力を改めてお願ひ申し上げましてご挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

規則により才川昌一会長が議長を務める。

6 議事事項

報告事項

(1) 令和4年度スポーツ関係事業報告について

事務局から説明した。

●質疑応答

○委員 スポーツを行っている市民の割合を令和6年度に50%に引き上げていかなければならないと書いてある。コロナ禍でそのことについてなかなか進んでいかないのかなと思ひます。今ほどお話があった新しい事業を継続していくことだけでこの50%の目標を達成できるのか心配している。令和5年度の事業はもうあるかもしれないが、令和6年度に向けて新たな考えや方向を作るべきではないかなと思ひます。何か考えはあるか。

○事務局 現在、様々な推進事業を行っているが現状は44%ほどで、事業を設けていかなければいけないが、ただ闇雲にという話ではいけないと思ひます。昨年度、企業向けのスポーツ指導者派遣事業で、企業に聞き取りを行ったところ、企業でというわけではなく、一個人で時間外にスポーツクラブへ行かれ、スポーツの推進を図る方もおられることが分かった。また、昨年の審議会で委員の方から、特に高齢者が体育館に行くことに対して敷居が少し高いと思ひておられるという話があったので、市民体力づくりの教室や、南砺市スポーツクラブ指導力向上支援事業等も行っている。

それらを継続的にPRしていきたい。事業所や企業向けには、企業ではなかなか教室等を開催することは難しいが、どうしたら従業員が個人的にスポーツクラブに行ったりして運動に親しめるかということを一年間できいろいろと検討していきたい。聞き取り調査もしながら進めていきたいと考えている。

- 教育長 今言った通りで、どうしたらいいのかみんなで知恵を絞っているところであるが、ぜひ委員の皆さまからも意見をいただいてそれを生かしていけたら有難いなと思っている。
- 委員 今日はすぐにそういう話はできないかもしれないが、委員の方は良い案を思いつかれたら教育委員会に助言をしていただければと思う。
- 事務局 参考として、アンケート調査の中では、特に30代、40代の働き盛りの方が運動不足になりがちなので、そこに対しても重点的に行っていきたいと思っている。

(2) 令和5年度スポーツ関係事業計画について
事務局から説明した。

●質疑応答

- 委員 令和5年度の大会でスポーツクライミングの大会があったが、桜ヶ池クライミングセンターはどこかが管理しているのか。
- 事務局 桜ヶ池クライミングセンターについては、令和2年度の3月に北陸電気工事株式会社と平野電業株式会社の方に建物を譲渡している。管理はそこでやっているが、スポーツクライミングのリード選手権等の開催にあたっては、城端町時代からジュニアオリンピック選手権をクライミングセンターで開催していた実績もありずっと続けられている。企業としても企業研修に使われている。公共施設再編の中では、うまくいっている1つの事例だと思う。
- 委員 ゴールドウィンがどうこうという話を聞いたこともあるがその辺はどうなっているのか。
- 事務局 ゴールドウィンについては、今年の春にPLAY EARTH PARK構想で、県、南砺市、ゴールドウィンで協定を結び、現在いろんな調査の中で、自然等に親しめる施設を考え、2、3年ほど先に開始するような形で計画を立てられておられる。担当はブランド戦略部のPLAY EARTH PARK推進室になる。

(3) 第73回全国高等学校スキー大会の開催について
事務局から説明した。

●質疑応答

- 委員 前回は何年前に富山県で開催されたのか。
- 事務局 17年前である。17年ぶりに南砺市で開催されることになる。
- 委員 いろいろな団体に協力いただかなければいけないことが出てくると思うので、また情報をしっかり流していただきたい。

(4) 中学校部活動の拠点校化・地域移行について
事務局から説明した。

●質疑応答

- 委員 21ページの、「南砺市が推進する部活動改革とは」というところで、「スポーツ、文化、芸術を残し、持続可能な生涯教育の環境をつくる」とあるが、スポーツだけではなく吹奏楽等も入ってくるという認識で良いか。
- 事務局 その認識で良い。
- 委員 小学校段階も含めた地域移行ということだが、現在スポーツ少年団では小学校単位で集まって行っていたり、あるいはもっと広いエリアで集まって行っているが、中学校拠点化になったとしてもスポーツ少年団は今の現行のままでやるのか。
- 教育長 小学校を全て拠点校化することは考えていない。ただ現在のままいくのか、少し子どもの数が減ってやるところが減るのか、その辺りはまたスポーツ少年団で考えていただくことになる。
- 事務局 スポーツ少年団を地域で行う場合、だんだん人口が減って少年団が成り立たない可能性もあるので、その辺をどういうふうにしていけば良いのかということ少年団と検討中である。
- 委員 実際、少年団ではいくつかの小学校が集まって活動している。いずれは恐らく南砺市で1つという形になると思う。平日週に3日の練習は地元で個々に行っていただき、大会が近づけば全体で練習する等、そういうようになるのかなと考えている。

(5) 受益者負担の適正化に係る協議について
事務局から説明した。

●質疑応答

- 委員 年間利用料は施設利用料になるのか。2,000円払えばあとは発生しないのか。実質年会費の上乗せという考えか。例えば教室等に入る場合は別

途料金を払ったりしているが、この年間利用料金というものはどういうものを考えておられるのか。

- 事務局 年間利用料については、現在はスポーツクラブの会員になれば体育館の使用が無料になっている。教室等については、別途で料金をいただいている。今回こちらが提案する 2,000 円については、今まで施設使用料が 0 円となっているのを、スポーツクラブ会員であれば施設利用料として 2,000 円をいただくという形になる。ただ、スポーツクラブ側は全体的なこともあるため、教室等もひっくるめて何とかならないかと言われるクラブもいる。その辺がまだ皆さんの理解も得られていないので、これから協議していく必要がある。
- 委員 私はスポーツクラブの会員で、福野体育館を使うのは無料だが、福野小学校等でバスケットボールの教室を開催する際は使用料を払っている。それを払いながらさらに 2,000 円払うことになるのか。
- 事務局 小学校の利用は学校開放事業となる。学校開放と社会体育施設とは別で料金を取っている。
- 教育長 今委員からいただいたご意見を簡単にまとめると、もし 2,000 円の施設使用料を払えば市内のどこの施設も無料で使用できるようになる、その方がすっきりと分かりやすいのではないかということか。
- 委員 おそらく聞こえとしては、年間利用料金が 2,000 円上乗せというふうに言われたら、別の施設を使用するとき料金を支払っているのにまだ支払わないといけないのかというイメージになる。
- 教育長 例えば、教室に入るときでも指導料は払うが、その中には会場経費は既に支払ってあるというような、決して料金を二重に支払っているように見えないような設計をした方が市民にとっては分かりやすいということか。
- 委員 実質年会費の上乗せになるというイメージを持ってしまうので、施設使用料とかではなく、違う言い方があるのではないかなと思う。
- 教育長 まだ協議中なのでまた検討させていただく。
- 委員 スポーツクラブと教育委員会との協議がこれから進んでいくということで、スポーツクラブの意見は意見だが、やはり市民の皆さんが使い勝手の良い方向が一番大事なので、スポーツクラブに納得してもらうことが 1 番ではなく、市民の方にご理解いただけることがまず 1 番だという目線で協議をしていただきたい。
- 委員 個人利用単価の改定のところで、令和 2 年度の実績を基に単価の改正をされるということであるが、コロナ禍の状況もあつたりして単年度だ

けの実績で検討するのは難しいのではないか。また、市外の同じような施設の利用料金もある程度加味していかないと利用者が市外の方に流れてしまうのではないかという懸念もあると思うので、そこら辺も同時に協議の中に入れていただくようお願いしたい。

- 事務局 市民の方がより利用しやすいような形を検討していきたい。また、スポーツクラブとの協議がある程度協議が進めば、スポーツの競技団体や一般の方と協議していく中で、利用単価はいくらくらいが妥当か等、市である程提案しながら進めていきたい。

協議事項

(6) 南砺市スポーツ推進計画の進捗状況と課題について

事務局から説明した。

●質疑応答

- 委員 言葉の中でいくつか目標値という言葉が出てきたが、例えば25ページの資料6の50m走タイムの目標値というのは何を持って設定されたのか。また、今ほど説明のあった施設利用者数の目標値の算出基準はあるのか。

- 事務局 25ページの目標値については、第2次スポーツ推進計画を作成したのは令和2年であるため、令和元年度の記録を基に、令和6年の中間期における目標ということで設定している。同じように体育施設の利用者数についても、令和元年度のデータを基にこれからの人口比率や高齢化の進行、スポーツクラブの加入率・脱退率を勘案し目標値を決めた。

- 委員 学校の方は、目標値が高いのではないかなと私は見て取れた。

- 事務局 考察でも少し触れさせていただいたが、今回コロナ等でほとんど運動ができていなかったりして、ようやく上昇してきたところではある。来年度、この第2次スポーツ推進計画の中間での見直しが入るので、今回の状況を見ながら目標値設定を検討していきたいと思っている。また、全国的にも値が下がっているということもあるので、いろいろなところからも情報を得て目標値設定について考えていきたい。

- 委員 今年度はトップアスリーの教室を開催する予定はないのか。

- 事務局 今年度は予定していない。特に2年に1回や、毎年開催するということは考えていないが、今年度はお休みということでご了解いただきたい。

- 委員 子どもたちは毎年毎年変わっていくので、去年したけど今年はしないということになれば今年の子たちは見捨てられているのではないがそういうイメージにもなる。例えば、地元の富山県にサッカーやバスケットボ

ール等のプロチームがある。地元のプロチームの選手やコーチに来てもらうということは考えておられるのか。

- 事務局 サッカーについては、去年、カタール・富山から教室を開催しませんかというお誘いをいただき、サッカー協会を通じて教室を開催した。プロを間近で見るということは大切なことなので、県内のプロスポーツ関係の事業については、お誘いがあれば各協会さんを通じて少しずつ行っていきたく思っている。また今回のトップアスリートの教室について、1年間は休むが、来年度以降については体育協会や理事会等を通じてどのような競技で行っていけば良いのかというご意見も聞きながら進めていきたい。またいろんなご意見をいただきたい。
- 委員 グラウジーズの活動を見ていると、学校へ行ったり、ホームページには教室を開催しませんかという情報が発信されている。本当のトップアスリートもすごく刺激になると思うが、身近な地元にいるプロの方たちが時々指導に来てくだされば、また応援にも行くだらうし、お互いに相乗効果があるので、向こうからのお誘いを待つだけではなく、こちらからも連絡していただくのも良いのではないかなと思う。
- 教育長 今年度は穴が開いてしまって残念だが、次回からはそうならないようにまた計画していきたい。子どもは次々に大きくなるので、できるだけいろんなスポーツで年に1回は予算化して計画的にできるよう今後進めていく。
- 委員 トップアスリートの事業は体育協会の部会でずっと行ってきたが、参加率が低い。なぜかという点、少年団の活動を休んでまでトップアスリートの教室に参加する子供が少ない。県でもトップアスリートの事業があるが、そこには南砺市からは数人しか参加していない。南砺市にも素晴らしい選手がたくさんいるが、少年団の活動に参加しなければいけないため出られない。それが1つの理由である。わくわく運動プログラムという少し対象の学年を落として、たくさんの子どもにスポーツの機会を与えようという企画もある。したがって、少年団の活動がメインとなっているが、少年団としても県のトップアスリートの事業に参加して活躍してほしいという気持ちはある。
- 教育長 トップアスリートか地元のプロチームか等も含めて、対象も考えながら、そういった機会をなくすのではなく増やしていきたい。
- 委員 先ほども話があったが、体育協会でも年齢層を変えて、できるだけ小さいお子さんに一歩目の運動を広げていくことが大事ではないかということで事業の拡大をさせていただいている。また、バレーボール協会でも県のプロチームに底辺の拡大ということで、南砺市で教室をしたいと

申し入れがあったりということもある。全国的に著名な方をお呼びして1回の教室をするよりも、優秀な指導者の方に来ていただいたり、小さいお子さんの一步目の運動能力を上げていただくことが大事ではないかなと思う。そういうところでトップアスリートの育成もできるので、全国的に著名な方を呼ぶことだけが意義のあることではないのではないかなと思う。全体的に調整していただいて方向づくりをしていただきたい。

○教 育 長 連携を取って進めていきたい。

○委 員 30ページのいろんな施策の検討で、いろんな形で講習会等を各スポーツクラブで行ってきている。その中でコロナ禍前は補助金がほとんど出ていた。令和3年度から少しずつ減り、令和4年度はクラブ全体で15万ほどを見込んで講習会等を行った。今年度についてはまた予算が減るということで、クラブサポーターという組織に協賛金みたいなものをお願いしてこれに充てようかなという意見も出ている。なるべく予算化したものについては市の方でも予算化をお願いできればと思う。段々と補助金が減り、それに伴い講習会等が減ってくると次の世代の子どもが可哀想ではないかと思う。極力講習会等を減らさないような形で推進できたらと思っているので、また検討していただけたら有難い。

○事 務 局 確かに補助金額は減っているが、補助金をなくしているわけではなく、補助金のガイドラインに沿って補助金を100%から50%に段階的に下げていたのが、コロナで知らない間に一気に減額になったような形になってしまい、非常にご迷惑をおかけしている。ただ、補助金のほかにも、委託等の支援もあり、市と総合型スポーツクラブと体育協会が一体となって指導者の育成やジュニアの育成もやっていきたい。またいろいろと相談させていただきたい。

○委 員 小学校の立場でお話をさせていただくと、トップアスリートの事業等については、とても良い話だと思う。しかしながら、子どもの体力を上げるために事業を増やしていくということも大事だが、その反面、事業を増やしても子どもがそこに参加できるのか、ということがある。本当に子どもは忙しく、休む暇が土日しかないのではないかと思うこともある。事業を増やすことも大事ではあるが、それよりも子どもの生活習慣が今すごく乱れていて、例えばゲームで夜遅くまでやっているために朝も起きられず、だるいから運動しないという子どもも結構いたりする。事業を増やすことばかりではなく、子どもの根本的な生活習慣を変えていくことも同時にやっていかないといけないと思う。

○教育長 委員の言われる通りだと思う。今はスポーツ推進審議会の視点で話していただいている。社会スポーツというよりは、家庭と協力しないといけない面もあるので、また校長会や PTA の方で、教育委員会も一緒に協力して行っていければ南砺の子どもたちは幸せになると思う。

(7) 体育施設再編について
事務局から説明した。

●質疑応答

○事務局 公共施設再編計画において、福光体育館は後期で維持更新していくという形となっている。福光体育館については昭和49年に建築され、49年間経過しており、耐性の基準を満たしていないということから令和元年に耐震補強やアスベスト除去等の工事の設計委託を行ったところ、その当方で10億円余りという金額となり延期としていた。また、物価の高騰等の影響もあり、もし今後その工事を行うとなると1.5倍くらいかかるということである。こういう施設については、今まで再編計画の中で改修を進めていたが、福光体育館の場合、一般の方からの意見を聞いていないということもあり、今回、審議会にて進めていく中で、改修もしくは新築等、いろんな意見を委員の方からいただきたい。

○委員① 資料に書いてあるように城端東部体育館と福光体育館が耐震化基準を満たしていないのは、利用者の方にとって心配なところだと思うので、直していただくことは大事だと思う。福光の体育館の場合には、これから教育のあり方検討会でも協議がされてくるかもしれないが、小・中学校の統廃合も含めた議論において体育館のあり方をどうするのかということも出てくると思う。福光の体育館そのものをどうするのかということは、以前と協議の状況の土台が違ってきているのではないかと思う。全体的な改修ではなくても、アスベストの除去だけでもする必要があるのではないか。

○委員② アスベストは絶対にあってはならない。アスベスト対策をするのは一番大事ではあるが、町の中の体育館は必要だと思う。その辺をうまく話し合いながらやっていただいたら良いのかなと思う。

○委員③ 残すべき必要施設であることを重点に置いて、やはり大きい施設も必要だと思う。地区にも体育館がいくつかあり維持管理も大変だと思うので何か方向性があれば良い。拠点的なところで体育館があれば良いのではないかなと思う。

○委員④ アスベストの除去は当然必要だと思う。福光にも大きい体育館は必要だと思う。なるべく各市町村に1つではなく、稼働率の高いところは残

してあげたら良いのかなと思う。スポーツ人口についてどうこう言っているのに施設をなくしたら不便が生じると思う。難しいところであるが、いい方向にいけば良い。

- 委員⑤ 体育館は必ず必要だと思う。大規模改修も延期となっており、決断を早くしていただきたいという思いがある。
- 委員⑥ アスベストの問題は解決すべきだと思うが、10億円というのはすごく大きい金額だと思う。
- 委員⑦ 福光体育館は使用頻度も高いので何とかしてほしいと思う。
- 委員⑧ 体育館に関してはこれまでも何度か会を持ち、そこでは改修する金額と新築にする金額があまり変わらないのであれば新築の方が良いのではという意見が多い。できれば新築でお願いしたい。
- 委員 ここで結論を出して方向付けをするわけではないが、一歩目の意見聴取だと思うので、今ほどのご意見を参考にさせていただき、市民の方等にも意見を聞いていただいてまた方向づくりをしていただきたい。

7 その他

8 閉会挨拶

(赤池副会長)

報告事項が5点、協議事項もあり、大変中身の濃い会だったと思います。2時間近くの良い会合になってしまいました。

スポーツを行っている市民の割合が現在44%で、あと2年後に50%というのは非常に高い数字だと思うが、お一人お一人が1時間でも2時間でも体を動かすことを増やしていただけたらおそらく到達できるような数字ではないかなと思っております。

部活動については、本当に子どもたちが楽しく活動できて、保護者にあまり負担がかからないような進め方をしていければいいのかなと思っております。

本日はいろいろとご協議いただき、たくさんのご意見や質問をいただきました。そういったことをこれからみんなの中で揉んでいければいいのかなと思っています。ありがとうございました。

生涯学習スポーツ課長が閉会を宣言した。